

学校図書館支援センター通信 164号

令和4年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

本好きな子どもを育てたい...



妙典小学校では「本好きな子どもを育てたい」という思いから学校司書や学級担任による読み聞かせを計画的に実施しています。1年5組（担任：松岡暢子先生）では、毎日読み聞かせを行っています。読み聞かせ中には、「この場面に出てきている」イチゴショートケーキが好きな人？」「この後、どうなるかな？」など、挙手を求めたり、物語の予想をさせたりすることで、子どもたちを絵本の世界へ引き込み、子どもたちは想像力を掻き立てています。また、読み聞かせを行った本は教室の後方に掲示をして、読んだ本をいつでも振り返ることができるようにしています。



大型提示装置に映し出し、子どもたちに読み聞かせをしている様子

読み聞かせる本は、学級に関わっている先生や松岡先生本人が選書したり、子どもたちから読んでほしい本を募ったりしています。また、選書のリストは学校司書と共有をしています。学校司書はリストにない本を紹介したり、選書のアドバイス等を行ったりしています。松岡先生は、「梅木先生（学校司書）に色々教えていただけて、本当に助かっています。」と、学校司書の存在に心強さを感じているようでした。

さらに、松岡先生は、「読書は文字に親しむことができ、年度当初は平仮名が書けなかった子が読み聞かせと読書で、今は平仮名だけでなく片仮名も書けるようになってきています。また、日々の行動も図書で学ぶことができますし、季節にも触れることができます。」と語っていました。「1年間読み聞かせを続けて、今は本を読んでもらうことに喜びを感じている子どもたちが、年度末には、自分で本を読むことの楽しさに気付いてくれると嬉しいです。」と話していました。



読み聞かせをした本の掲示

新たな
学校図書館活用推進事業が
始まります！

（推進協力校）
市川市立柏井小学校
市川市立第七中学校

昨年度まで文部科学省委託事業を受けて進めてきた調査研究事業ですが、本年度より市川市独自の学校図書館活用推進事業として生まれ変わりました。

今年度からの新規事業ということもあり、これまでの文部科学省委託事業を踏襲した型でのスタートとなります。

この事業は、「『生きる力・夢や希望を育む学校図書館』に向けた学校図書館活用の推進についての調査研究を行い、全市的に実践内容や結果等を共有するなど、学校図書館活用の推進の一翼を担う」というものです。

今年度は2校の推進協力校にご協力いただきながら、学校の実態に応じた調査研究を進めていきます。

☺☺ 図書館の窓から 📖📖 ~ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆~ 📖
： (市川市立真間小学校)



上学年が下学年に読み聞かせをしている様子

真間小学校は、6月20日～7月1日が初夏の読書週間で、その催しの一部を図書委員が考えました。「いろいろな分類の本を読んで面白さや楽しさを感じてほしい、知ってほしい」という願いのもと、複数の分類の本を必ず読む読書ビンゴを計画しました。図書委員が全クラスにアピールに行くとともに校内放送でも呼びかけて、沢山の人が意欲的に取り組む様子が見られました。また、ペア学年での上学年から下学年への読み聞かせも、コロナ対策を十分に講じながら行うことができました。秋の読書月間も、図書委員の発想を生かしながら、読書郵便やブックシャッフル（先生方の読み聞かせ）、全校辞書引き大会等に加えて新しい取り組みを考えていけたらと思います。

(市川市立真間小学校 学校司書 石田 恵子)

学校 図書館 訪問



除籍本の有効活用

学校によって、学校図書館の広さや形、蔵書数など様々です。そのため、学校司書のみなさんは学校の実態に応じて、本の配置や掲示物の作成など、学校図書館の環境づくりに様々な工夫を凝らしています。今回は平田小の掲示物作成についてご紹介します。

平田小では、廃棄した写真集をラミネートし、掲示物として再利用しています。写真は、市川市出身の写真家である星野道夫さんについての掲示物です。



休憩中です



幸小の職員室には、教頭先生が立ち上げた「ミニ図書館」があります。教職員の資質能力向上にかかわるものやほっと一息つける書籍などが揃っています。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

